工業

Ⅱ　スクール・ポリシー

1　育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

(1) 高い専門的知識と技能をもった工業技術者を育成し、探究心やあきらめない心をもった人材を育成する。

(2) 一人一人の特性や個性を活かし、目標や目的をもって行動できる人材を育成する。

(3) 基礎知識の定着をはかり、高度な資格取得へ挑戦する人材を育成する。

(4) 身につけた専門性を応用し、課題解決ができる人材を育成する。

(5) 協調性やコミュニケーション能力を備えた、次世代の工業界を担う人材を育成する。

2　教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

(1) 外部機関との連携を密に行い、専門的知識・技能を高め、資格や検定に積極的に取り組む授業を展開する。

(2) 最新機器を効果的に活用した授業を展開する。

(3) ＩＣＴ機器を活用し、自ら調べ、探究できる環境を整えた授業を行う。

(4) 実践的な実習や専門性の高い授業を通して実践的・体験的な学びを展開する。

(5) 地域と連携した実習により、主体的、対話的な力を養う学びを展開する。

3　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 基本的生活習慣が身についており、将来進みたい方向へ意識が高く、学びたいことを明確に持っている生徒を募集する。

(2) 何事にも挑戦しようという気持ちが強く、自己実現に向け、努力できる生徒を募集する。

(3) 自身の意見を持ちながらも、素直な心で他者の意見を聞き入れることができる生徒を募集する。

看護

Ⅱ　スクール・ポリシー

1　育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

(1) 看護師としてふさわしい倫理観をもった人材を育成する。

(2) 他者と協働でき、社会人としてのスキルを身につけた人材を育成する。

(3) 専門的な知識・技術を身につけ、豊かな心をもつ人材を育成する。

(4) 予測困難な時代に適応し、自己研鑽ができる人材を育成する。

(5) 自分の意見をもち、自ら考えて看護できる人材を育成する。

2　教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

(1) 自ら学ぶ姿勢を身につけ、主体的に問題解決をする能力を育成する教育を展開する。

(2) 専門的な知識の定着がはかれるよう、看護の実践的な知識技能と患者に向かう態度を、実習を通して育成する。

(3) 地域で働く方々と連携し、地域理解や地域貢献の意識を高める授業を展開する。

(4) 専門的知識をわかりやすく伝える授業を展開する。

(5) 知識・技術を身につけられるよう、段階をふんだ授業を展開し、知識を実践に生かすことができる授業を展開する。

3　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 何事も一生懸命に取り組み、粘り強く広い視点で物事が考えられ、素直に人の意見に耳を傾けることができる生徒を募集する。

(2) 人に関心をもち、愛情をもって他者に接することができる生徒を募集する。

(3) 看護に興味関心があり、学ぼうとする強い意志、困難に立ち向かえる強さを備えた生徒を募集する。

福祉

Ⅱ　スクール・ポリシー

1　育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

(1) 専門性を高め、高齢化社会を支える医療・介護従事者を育成する。

(2) 思いやりの心をもった人材を育成する。

(3) 高齢・障害者等のさまざまな課題を専門的に考え、解決しようとする人材を育成する。

(4) 将来の福祉・医療のリーダーとなる人材を育成する。

(5) 専門的知識を身につけ、国家資格に合格できる知識・技能を備えた人材を育成する。

2　教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

(1) 実習を通し、福祉の現場で多職種と関わり、さまざまな視点からの支援を学ぶ。

(2) 介護教室など、外部や地域との連携により経験を積み、人間性を高める授業を展開する。

(3) 実習を通した学習をもとに、実践力を高める学びを展開する。

(4) 基本的な知識に加え、実践的な専門技術を身につけられる授業を展開する。

(5) 社会のニーズに対応し、時代を生き抜いていける学びを実現する。

3　入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 福祉を志し、将来に対する目標意識が明確な生徒を募集する。

(2) 本校の福祉科に興味・関心のある生徒を募集する。

(3) 人との関わりに関心があり、人のために何かしたいという貢献心のある生徒を募集する。